

3月末に調査した2009年4月の「消費意欲指数」の結果がまとまりました。
2009年4月の消費意欲は、先月から0.7ポイント増加し、
48.5点でした。

前月比アップも5ヶ月連続で4月として過去最低値を記録。消費意欲は依然低迷。

■ 「消費意欲指数」は、月別の消費の先行指標として、1993年より注目されているデータです。

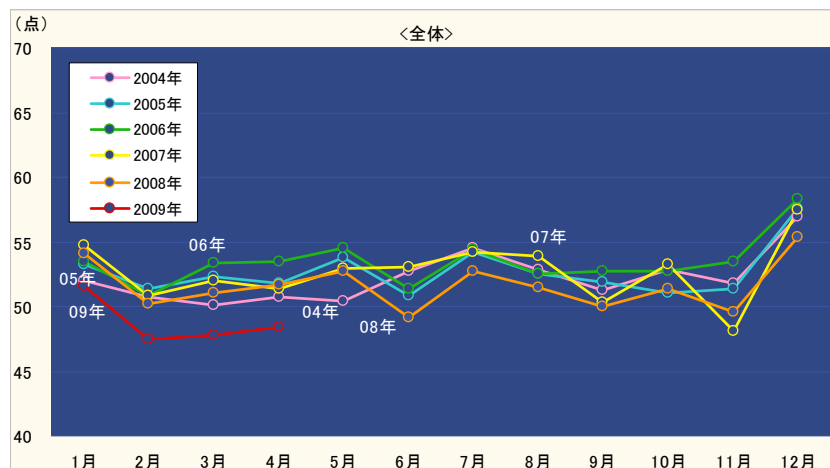
3月末時点で、博報堂生活総合研究所の調査パネルである一般生活者419名に対し「消費意欲（モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求）が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの2009年4月の消費意欲は何点ぐらいでしょうか？」と質問した結果が、「4月の消費意欲指数」です。

この消費意欲指数は、月別の消費を占う先行指標として、1993年4月の調査開始以来、幅広く活用して頂いています。

■ 2009年4月の消費意欲指数は先月から0.7ポイント増加し、48.5点でした。

2009年4月の消費意欲指数は先月から0.7ポイント増加したものの、前年同月比は3.2ポイント減少の48.5点となり、4月としては過去最低値となりました。これで当月の最低値を記録するのは昨年12月以降5ヶ月連続です。3月、4月と前月比は小幅ながら2ヶ月連続でアップしましたが、2月以降40点台後半の低水準の指数が続いています。

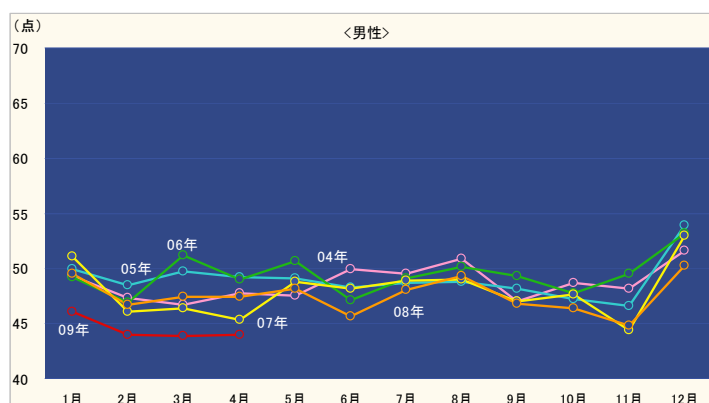
3月の日銀短観では大企業製造業の景況感が過去最悪に、また月例経済報告も景気の悪化ペースは継続と判断、総務省の家計調査でも2月の消費支出は12ヶ月連続の減少など、発表された最新の景気指標は軒並み厳しい数値が並んでいます。一方で定額給付金や高速道路料金の値下げなど様々な景気対策がとられる中、内閣府発表の街角景気の現状判断指数や消費者態度指数は依然低水準ではありますがこの2、3ヶ月改善しており、消費マインドレベルではやや下げ止まり感もでてきているようです。しかし、今年の手続き企業の春闘妥結額は4年ぶりの前年割れとなりました。収入が伸びず、雇用環境に不安が感じられる状況で、このまま消費マインドの改善が続くのか、また例年5月に上昇する傾向がある本調査の消費意欲指数がどこまで回復していくのか、来月の調査結果に注目したいところです。



■ 男女ともに4月も当月最低値を記録。前年割れは5ヶ月連続。

男女別の消費意欲指数は、男性が先月比0.1ポイント増加、前年同月比3.4ポイント減少の44.0点、女性は先月比1.2ポイント増加、前年同月比3.0ポイント減少の53.0点で、男性は2ヶ月、女性は3ヶ月連続で当月の最低値を記録しました。前年割れは男女とも5ヶ月連続です。特に男性の指数が2月以降過去2番目、3番目の低水準となっており、その低迷ぶりが目立ちます。

同時調査の生活力点の「モノ消費」項目をみると、あまり大きな動きはありませんが、女性では「日常的な小さな」「中くらいな」買い物が先月比、前年同月比ともにアップしました。男性は「日常的な小さな」「中くらいな」「大きな値の張る」の3項目とも先月に続き相変わらず低水準で推移しています。



※博報堂生活総合研究所のHP (<http://seikatsusoken.jp/>) では、「消費意欲指数」も含め、生活者に関する調査データにご自由にアクセスすることが可能となっております。是非一度ご覧ください。

【調査概要：生活発見パートナーズ調査】

調査地域：首都圏／調査対象者：18～74才の男女個人419人／調査方法：郵送法

本件に関するお問い合わせ

博報堂広報室 大野・西尾 (03-6441-6161)

博報堂生活総合研究所 (03-6441-6450)

消費意欲指数・12ヶ月移動平均※（ウェイトバック数値）

消費意欲	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
1993年													
1994年				60.3	60.6	60.7	60.9	60.9	60.8	60.9	61.1	61.5	60.9
1995年	61.7	61.6	61.5	61.5	61.4	61.4	61.2	61.2	61.1	60.9	60.9	60.6	61.3
1996年	60.4	60.4	60.3	60.3	60.3	60.3	60.3	60.2	60.4	60.3	60.4	60.7	60.4
1997年	60.6	60.4	60.6	60.4	60.0	59.7	59.7	59.7	59.5	59.4	59.2	58.8	59.8
1998年	58.7	58.4	57.9	57.9	58.1	58.0	57.7	57.6	57.5	57.5	57.4	57.4	57.8
1999年	57.3	57.6	57.9	57.9	58.0	58.0	58.2	58.2	58.2	58.2	58.2	58.1	58.0
2000年	58.3	58.3	58.5	58.7	58.4	58.1	57.6	57.2	56.7	56.4	56.1	56.0	57.5
2001年	55.6	55.2	54.7	54.3	54.2	54.2	54.2	54.3	54.3	54.0	53.6	53.2	54.3
2002年	53.0	52.8	52.5	52.3	52.1	51.9	51.8	51.7	51.9	52.3	52.5	52.5	52.3
2003年	52.5	52.3	52.4	52.3	52.2	52.3	52.2	52.2	52.0	51.7	51.7	51.7	52.1
2004年	51.7	51.9	51.8	51.8	51.7	51.8	52.0	52.0	52.1	52.3	52.2	52.3	52.0
2005年	52.4	52.4	52.6	52.7	53.0	52.8	52.8	52.7	52.8	52.6	52.6	52.7	52.7
2006年	52.7	52.6	52.7	52.9	52.9	53.0	53.0	53.0	53.1	53.2	53.4	53.4	53.0
2007年	53.5	53.5	53.4	53.2	53.1	53.3	53.2	53.4	53.2	53.2	52.8	52.7	53.2
2008年	52.6	52.6	52.5	52.5	52.5	52.2	52.1	51.9	51.8	51.7	51.8	51.6	52.2
2009年	51.4	51.2	50.9	50.6									51.0
前年比	97.7	97.3	97.0	96.4									97.1

※本数値は季節調整手法により、四季の気候や特定月に発生するイベント・出来事などの影響を除去した時系列データです。